

# COOP-JOSO News Letter

2019年5月4回号 発行/常総生協広報G

2019年度活動テーマ(案)「JOSO食材でかんたん・うちごはん」

## 常総生協オリジナル醤油 を、沼屋さんに仕込んで もらいまし た！！



5月2日（木）に八郷の大豆850kgをつくば市の沼屋本店にお願いして、常総生協オリジナル醤油として仕込んでもらいました。今回仕込んだ醤油は2021年3月に完成します。ぜひ楽しみに!!

### 6/8（土）総代会・交流会参加・ボランティア申込

（日時）2019年6月8日（土）10:00～13:00

（場所）常総生活協同組合本部 2F組合員活動室（守谷市本町281）

※総代会の傍聴、保育ボランティアに協力してくれる組合員さんを募集しています。ぜひご参加、ご協力お願いします。

コース名 \_\_\_\_\_ 班名 \_\_\_\_\_ お名前 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

交通手段 ☐ 自家用車（駐車場必要） ☐ 公共交通機関 ☐ その他

#### 総代会傍聴参加申込

☐ 総代会傍聴参加（10:00～13:00）※9:30～10:00までにおいで下さい

#### 総代会保育ボランティア ※お手伝いいただける方募集しています。是非お願いします。

☐ 総代会保育ボランティア可（9:30～13:00の間）

## 常総生協平和の集い「春の遠足」組合員レポート

「歴史を学ぼうー未来のために」講師は都留孝子さん。

毎月生協の会議室で行っている講座ですが、4月は足を伸ばして埼玉県にある平和のミュージアム2カ所にお出かけしてきました。去年は暑いあつい夏の遠足で「女たちの戦争と平和資料館」に行きました。

4月20日（土）お天気上々、風爽やか、参加者6名、全員が10時前には鶴ヶ島駅改札口に集合しました。西口に出ると、すでに中帰連平和記念館の芹沢さんがお待ちかねでした。



芹沢さんが私たちのために娘さんから借りて下さったという8人乗りのワゴン車で記念館に向かいました。10分ほどで畑の中に青いトタン屋根のベニヤ張りの倉庫のような建物が見えてきました。

記念館では司書の宮本さんが待っていてくださいました。入るとすぐ右側に「山住文庫」という部屋があり教育者の山住正己先生のご遺族から寄贈された2万冊の本が収蔵されていました。入り口で少し説明を受けた後、プロジェクターで映像を見ながら芹沢さんから中帰連の成りたちと2002年の解散後すぐに立ち上げた「撫順の奇蹟を受け継ぐ会」のこと、「中帰連平和記念館」の開館とその役割、現状などこれまでのことを説明していただきました。途中で私たちからの質問など、その都度答えていただき、「冤罪」事件や裁判のことなど横道にも逸れながら丁寧に熱く語ってくださいました。その後NHKが制作したドキュメンタリーフィルムを見ました。

元日本軍戦犯が中国で原稿用紙に自分で書いた「告白」文そのものを見せられ、語り出す。誰もが鬼になる。それが戦争だ。忘れようにも忘れられない証言が次々と映し出される。

1950年から52年にかけてソ連から引き渡された969名の日本人捕虜は撫順戦犯管理所に、140

名は太原戦犯管理所にそれぞれ収容された。千人余りの「戦犯」たちは56年に瀋陽の特別軍事法廷で裁かれるまでの6年間は中国政府の寛大な措置と人道的な待遇により、自ら自分の犯した残虐極まりない行為を認め、反省するようになる。これを「認罪」という。「命令に従った、任務を遂行した」と自らの行為を正当化していた殺戮の鬼たちも周恩来の寛大な政策により人間性を取り戻すことができた。自分の犯した行為を文章に書く「坦白」（タンパイ）は3度も4度も書き直したという。同じ事柄を書くにしても、だんだんと「文字」が変化してくる。投げやりな乱暴な文字だったのが小さく震えたようになり清書の文字は晴れ晴れとした文字になる。彼らの心の変化がどんなものだったのか想像してみよう。上官の命令に従っただけ、と言っていた兵隊が、仲間との議論や学習の過程で、人間の本質を理解し、自分の罪を認めるということは、大変苦しかったという。しかしその残虐な行為で殺されていった中国人たちの苦しみは筆舌に尽くしがたい。

周恩来は、戦争犯罪人を人間らしい人間に戻し、平和のために役立ってもらいたいと、そのために徹底した寛大政策をとった。中国の民衆にとっては、自分の親兄弟を虐殺した極悪犯罪人に対し衣食住を満ち、健康診断や医療、娯楽や学習の機会を与えることは我慢ならないことだ。しかし、上からの指導ということで管理所職員を説得徹底させた。特別軍事法廷判決は死刑も無期懲役も無し、有罪（8～20年）45人、残り1017人は起訴免除で全員釈放。有期刑の戦犯も満期を待たず1964年までに全員帰国させた。戦犯の中でも懲役20年の判決だった元満州国国務院総務庁長官武部六郎は病床で感激の涙を流している。その上、病気であることから刑期免除で即刻日本に帰国させている。被害者である中国人が加害者である日本の犯罪人を赦した歴史がある。これを「撫順の奇蹟」という。

去年、当時の戦犯管理所で看護婦長として働いていた趙先生と瀋陽で一緒に会食をしたのですが、管理所で一番印象に残ったことは何ですか、とお聞きしたら武部六郎の看病が大変でしたと話していました。彼は脳血栓で2度も倒れ、最善の治療により命は取りとめたが寝たきりの状態で4年間を過ごしました。意識もはっきりせず、専任の看護婦をつけ食事排泄も1日数回の寝返りもマッサージも行い細心の注意をはらって看病し、

おかげで床ずれもできなかったそうです。武部は気難しい性格だったそうで大変苦労したそうです。帰国船が入る天津の港までタンカに付き添って、迎えに来た武部の妻にたいそう感謝されたそうです。「一人の死亡者も出してはならない」との中央の指示で医療、看護、保健の業務は不可欠なものでした。中国人民はコーリャン粥しか食べられないのに日本人戦犯は白米を食べ、予防注射も中国人には子どもだけなのに戦犯にも施された。

「反戦・平和・日中友好」の使者として帰国した人たちは「中国帰還者連絡会」（中帰連）を結成し、どのように生きてきたのだろうか。加害者としての反省から、戦争犯罪の生き証人として語り部となって活動し、また、中国の徹底した人道主義による処遇で「正人」真人間に生まれ変わることが出来た。その体験を広く伝えてきた。

1988年、中帰連は撫順戦犯管理所（今は資料館として復元公開されている）の庭に「向抗日殉難烈士謝罪碑」を建てた。碑の裏側には『私たちは十五年に及ぶ日本軍国主義の対中国侵略戦争に参加、焼く・殺す・奪う滔天の罪行を犯し、敗戦後撫順と太原の戦犯管理所に拘禁されました。そこで中国共産党と政府・人民の「罪を憎んで人を憎まず」という革命的人道主義の処遇を受け、始めて人間の良心を取戻し、計らずも寛大政策により、一名の処刑者もなく帰国を許されました。いま撫順戦犯管理所の復元に当り、この地に碑を建て、抗日殉難烈士に限りなき謝罪の誠を捧げ、再び侵略戦争を許さぬ、平和と日中友好の誓いを刻みました。一九八八年十月二十日 中国帰還者連絡会』日本語と中国語である。

今現在、中国から帰還された方で会話が出来る方は、もういない。各地の「受け継ぐ会」が「坦白」（告白）書や証言フィルムなど歴史資料をもとに学習会や展示会を催し、過去の戦争加害の歴史を学び次世代に伝える活動をしている。平和な世界を築き、未来の子どもたちの幸せの為に、過去の経験を忘れず、後の教訓としよう。

「前事不忘 後事之師」中帰連及び撫順の奇蹟を受け継ぐ会のスローガンになっています。

去年の都留さんの歴史講座の中で中帰連と撫順の奇蹟については大まかに学んだので参加された人には、より一層深まり、新たな興味や疑問も湧いてきたことと思います。

このNPO中帰連平和記念館は、戦争犯罪、中帰連などに関する資料、映像の保存・供覧と研究者やジャーナリズムへの資料提供を主な活動としています。戦争と平和を考えるための図書と貴重な資料があります。どうぞ活用してください、と事務局長の芹沢さんがおっしゃっています。

開館日は水・土・日 ご連絡ください。TEL 049-236-4711 または 049-231-9706

丸木美術館では、スタッフの山口さんが用意してくださった「原爆の図」というDVDを見せていただき、丸木位里・丸木俊、お二人がなぜ「原爆の図」を描こうとしたのか、制作の様子や展覧会の事などよくわかります。古いフィルムですが私が好きなのでお願いしました。その後、自由に館内を見て歩きました。帰りはバス停まで15分ほど歩き、東松山駅から帰途につきました。

畑の中の道がとても気持ち良かったです。お喋りしながら歩いたのですが「周恩来は、なぜそこまで日本人戦犯に対して優しく寛大に扱ったのでしょうか?」「きっと日本に留学した経験があったからかしら?」「いや、そんなに単純ではないと思う。日本人ということではなく人間として、自分も相手も犯罪人も人間として考えたんじゃないの?」周恩来は1年余りしか日本に滞在していない。「19歳の東京日記」がある。神田の愛全



公園に「周恩来ここに学ぶ」の碑がある。

周恩来のことについてyoutube、疑問もあるけど参考になる

<https://www.youtube.com/watch?v=ShhgSe4UEPE>

(土浦市 K.Sさん)



### ①和綿の種を植えよう 1

○日時:5月16日(木) AM10:00~11:30  
現地集合、現地解散(生協集合される場合はAM9:00集合参加交通費 300円)  
○集合場所:農家レストラン どんぐりてい(茨城県坂東市弓田289-2)

どんぐりていそばの畑に播種をします。今シーズン1年かけて無農薬、無化学肥料で和綿を育て収穫を体験します。まずは播種の作業です。

雨天中止。但し、小雨決行します。

参加申込: 常総生協 商品部までお申し込みください。

TEL 0297-48-4911

### ②和綿の種を植えよう 2

○日時:5月16日(木) PM1:30~2:30  
○集合場所:常総生協本部  
生協本部脇の小さな畑ですが、和綿の種の播種作業を行います。  
○参加費:無料

今シーズン1年かけて無農薬、無化学肥料で和綿を育て収穫を体験します。まずは播種の作業です。

雨天中止。但し、小雨決行します。

参加申込:常総生協 商品部までお申し込みください。

TEL 0297-48-4911

### ③岩瀬牧場の豚舎をつくるボランティア お手伝い

○日時:5月18日(土) AM10:00~PM5:00  
○集合場所:岩瀬牧場(茨城県土浦市永井676) 現地集合現地解散 各自昼食持参ください。

豚さんたちの数が増えて、仮設の豚舎を建てますがそのお手伝い(ボランティア)を募集します。鉄パイプで囲いをつくる作業のお手伝いです。力仕事となりますので、大人の方のみです。

また、豚さんへの感染予防のため、既存豚舎には入れません。ご了承ください。

参加申込:常総生協 商品部までお申し込みください。

TEL 0297-48-4911

### ④自分で食べるお米をつくろう (田植え作業)

○日時:1回目 5月25日(土) AM9:00~12:00  
2回目 5月27日(月) AM9:00~12:00  
集合場所:農家レストラン どんぐりてい(茨城県坂東市弓田289-2)

どんぐりていそばの田んぼにて手植えでの田植え作業を行います。今シーズン1年かけて無農薬で「ササニシキ」を育てます。草取りや刈り取りまで行います。

参加費(1回):大人1000円/小学生以下300円

悪天候中止ですが雨天決行します。

参加申込:常総生協 商品部までお申し込みください。

TEL 0297-48-4911

